



「慶應義塾と戦争」アーカイブ・プロジェクト  
大阪特別企画展Ⅲ

# 慶應義塾と戦争

Stories Told by Remnants: Keio and WWII

——モノから人へ——



2025年7月10日(木) 14:00 → 8月31日(日) 16:00

◎開館時間 平日10:00→17:30 ◎休館日 土曜・日曜・祝日

◎休日特別開館 7/12(土)・7/13(日)・8/23(土)・8/24(日)・8/30(土)・8/31(日)は  
10:00→16:00に開館します。

◎入場料 無料

◎会場・お問合せ先 慶應大阪シティキャンパス

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪  
ナレッジキャピタル北館タワーC 10階 <https://www.korc.keio.ac.jp>

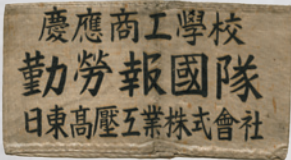
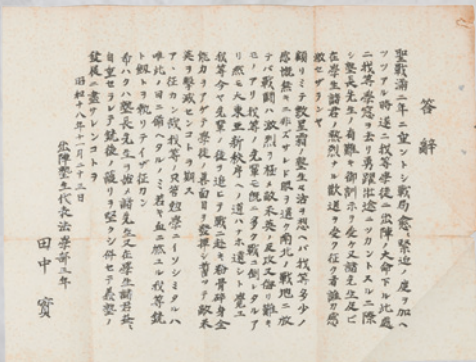


主催 | 慶應義塾福澤研究センター、福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、慶應大阪シティキャンパス

画像 東京大空襲・戦災資料センター蔵

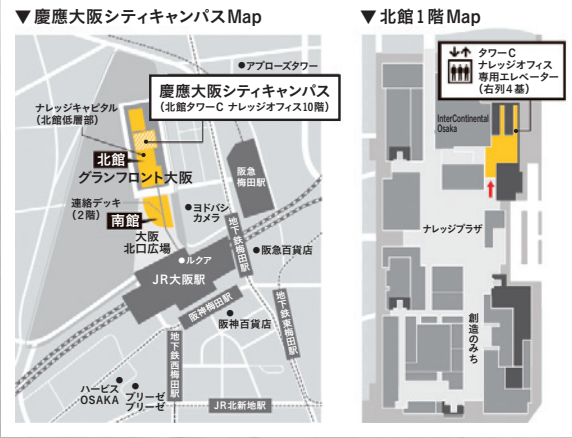
2025年は1945年の敗戦から80年に当たります。終戦当時20歳の方が100歳、5歳の方が85歳となり、軍隊経験はもとより、戦争の実体験さえも稀なものになりつつあります。戦争を語る“人”が不在となり、“モノ”に語らせねばならない時代が来る―「人からモノへ」―そのように言われ始めた2013年に、慶應義塾の歴史資料を調査収集する役割を持つ慶應義塾福澤研究センターでは、「慶應義塾と戦争」アーカイブ・プロジェクトを発足させ、戦争期の慶應義塾に関連する様々な“モノ”の収集、所在把握を重点的に行い、現在も活動を継続中です。

本特別企画展示会は、戦後80年の節目を迎えるにあたり、昨年慶應義塾三田キャンパスで開催した企画展「慶應義塾と戦争―モノから人へ―」のダイジェスト版を、大阪キャンパスにて行うものです。収集資料を展示し、「人からモノへ」の先にある「モノから人へ」―つまり、残った“モノ”が、“人”に何を繋ぐことができるかを考えます。大阪会場だけの新資料も出展を予定しています。



7

## 会場 慶應大阪シティキャンパス



〒530-0011  
大阪府大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪  
北館タワーC 10階  
Tel. 06-6359-5547  
<https://www.korc.keio.ac.jp>

JR大阪駅、阪急大阪梅田駅、阪神大阪梅田駅、地下鉄梅田駅・西梅田駅・東梅田駅より徒歩。北館タワーC 1階のオフィス専用エレベーター(右列4基)に乗り、10Fで降りてください。なお、キャンパスには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。北館タワーB 10階からタワーC 10階へは移れません。

## 関連行事

■ **ギャラリートーク** 会場定員80名(当日先着順)  
**7月10日(木)、8月8日(金)、8月31日(日)**  
毎回14:00から45分程度、無料

■ **講演会** 各回無料、会場定員80名(当日先着順)  
**8月7日(木) 15:00~17:00**  
テーマ:『戦時中の大学と学生を語る』  
パネリスト: 慶應義塾高等学校 校長 阿久澤 武史  
慶應義塾福澤研究センター 教授 都倉 武之

**8月8日(金) 12:00~13:30**  
テーマ:『慶應義塾と日吉台地下壕―モノから人へ―』  
講演者: 慶應義塾高等学校 校長 阿久澤 武史

**8月31日(日) 12:00~13:45**  
12:00~13:00  
テーマ:  
『慶應義塾出身の戦没アスリート』  
講演者: 福澤諭吉記念慶應義塾史展示館 専門員 横山 寛  
13:00~13:45  
テーマ:

『硫黄島で戦死した  
オリンピックの父 河石達吾について』  
講演者: 戦没オリンピック 河石達吾長男 河石 達雄

- 1 慶應義塾大学校旗
- 2 野外演習に出発する日吉の予科生
- 3 「学徒出陣」を描く幼稚舎生の慰問画
- 4 塾生出陣壮行会での出陣塾生代表答辞
- 5 勤労動員腕章
- 6 千人針 (小森英明)
- 7 真珠湾攻撃に参加した潜水艦軍医長日誌
- 8 沖縄の遺骨収集中に発見されたペンマーク入り万年筆
- 9 日吉台地下壕内からの採集品 (洋食器破片)
- 10 「25年後の卒業式」祝電